

3. 北関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
家計 動向 関連	良く なっている	スナック（経営者）	来客数の動き	・前年の同時期と比べてかなり良く、先の予約も入り出している。	
		商店街（代表者）	お客様の様子	・老夫婦が、花や旅行でのスナック撮影のために、外国の高級カメラを現金で購入するなど、年配の方の動きが活発になっている。	
	やや良く なっている	百貨店（販売促進担当）	単価の動き	・衣料品は、夏物処分の割引強化で、単価ダウンとなり苦しむが、中元ギフトは企画の成功などで、前年をクリアしている。ただし、大口顧客の件数が減少している。	
		衣料品専門店（店長）	販売量の動き	・客単価、来客数とも、対前年比で良くなっているが、コーディネートしてのまとめ買いは少ない。	
		衣料品専門店（統括）	来客数の動き	・祭用品の目的買いの客により、来客数、販売量ともに伸びている。また、商圏の範囲も広がっている。	
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・夜の来客数がやや増加している。飲み物の売上が増加し、客単価が高くなっている。	
		一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・新幹線の駅前に、県外の大型チェーンが出店し、競争はますます激化している。新店舗がオープンすると、3、4か月は行列が続く状態であり、飲食店に関する客の動きは、相変わらず良い方向に動いている。	
		タクシー運転手	来客数の動き	・地域的に非常に暑いせいか、少しでも涼を求めて、タクシーに乗る人が増加しており、やや良くなっている。	
		通信会社（社員）	販売量の動き	・7月に入っても、新規加入数は相応に伸び、目標は達成できそうである。6月と比べ、第3世代携帯電話への機種変更も、やや伸びている。	
	変わらない		商店街（代表者）	販売量の動き	・6月に引き続き、客の購買意欲が低い。前年と比べ、学校での登山用品販売が30%、地域の祭の寄付が20%それぞれ減少している。
			商店街（代表者）	販売量の動き	・長雨で、いろいろなスポーツ、キャンプ、登山用品があまり売れない。
			百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・7月は特に天候に左右される月であり、梅雨が明けても回復の兆しはなく、台風で追い打ちをかけられている。前年より梅雨明けが遅いせいで、夏物クリアランスの活気がなく、出遅れ気味で売上が低調である。一度チャンスを逸したら、取り戻すことは難しい。
			百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・梅雨明けが早く、暑い日が続いて衣料品の売上が好調であった前年と比べ、今年は動きが悪い。
			百貨店（店長）	販売量の動き	・中元ギフトの売上は対前年比96%となっており、上向き傾向がみられない。
			スーパー（副店長）	販売量の動き	・梅雨が明け、ようやく暑くなり、ピークを迎えた夏物は、前年の猛暑による売上と比べ、15%程度減少している。
		コンビニ（経営者）	単価の動き	・前年より気温が若干低いために、ソフトドリンク、酒類、ビール等で「もう1本」に届かない。上昇前のランディングという感じである。	
		コンビニ（経営者）	単価の動き	・客の目的買いが、より明確になってきている。	
		コンビニ（店長）	販売量の動き	・客の状況は特別変わっておらず、お金はあるが、必要な物、興味のある物しか買わない。	
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・来客数、売上ともに前年割れが続いているが、2～3%の弱い動きでは、確実に回復してきている。	
		衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・単価は依然として低迷しており、来客数、販売量も少ないままである。	
		自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・夏は、故障やエアコンの修理等があり、季節に応じた仕事量、売上が発生している。	
		住関連専門店（店長）	販売量の動き	・暑くなっても夏物の動きが悪く、販売点数が増加しない。	
	高級レストラン（店長）	来客数の動き	・ディナータイムの客が多少増加してきたが、満席になる日は少なく、しばらくは現状維持が続く。		
	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・期待していた夏休みの家族旅行の予約状況は悪く、行き先も、例年人気の東南アジアではなく、国内の安く近く短いツアーに人気が集まっている。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		観光名所（職員）	お客様の様子	・レストラン、ホテルの乗客数は、土日は例年並みであるが、平日は少ない。家族連れなどの食事に、節約が目立っている。
		遊園地（職員）	単価の動き	・乗客数は、前年比で増加傾向にあるが、食堂、売店の売上単価に勢いがなく、全体の収入増にはつながらない。
		ゴルフ場（支配人）	お客様の様子	・7月の来場者数は、対前年比で落ち込んでいない。周辺コースは、客単価を極端に下げたり、協定旅館の宿泊料を500円～1千円値引きして誘客しているが、来場者数が伸びているとは聞いていない。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・暑くなり、カット客が増加しているが、平均単価は上がらないので、売上はあまり伸びていない。
		美容室（経営者）	販売量の動き	・毛染め客が多くなっているが、その分パーマ利用が冷え込んでおり、相殺すると変わらない。
		その他サービス〔自動車整備業〕（事務長）	お客様の様子	・車検台数が若干増加しつつあるが、最低限の価格で整備してほしいという客が増え、売上は一向に増加しない。
		住宅販売会社（経営者）	販売量の動き	・一時的かもしれないが、問い合わせ、成約率がやや増加している。ただし、土地単価の下落には、歯止めがかかっていない。
	住宅販売会社（経営者）	来客数の動き	・モデルハウスへの来場者数が、前年並みになってきている。契約予定の件数も、あまり変わっていない。	
	やや悪くなっている	一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・7月は連続の台風があったり、暑さが厳しく、出歩く人も少ない。七夕等の縁日には人出があったが、この暑さには皆負けてしまう。
		百貨店（売場主任）	販売量の動き	・7月から空梅雨で、夏物処分の動きが非常に良かった前年と比べ、今年は厳しい。最後の追い込みがポイントである。
		スーパー（経営者）	単価の動き	・客単価が、6月に3%、7月には更に1.5%、低下している。酒部門では、ビールから低単価の発泡酒へのシフトにより、売上が対前年比で10%減少している。
		スーパー（統括）	お客様の様子	・6月には対前年比120%程度であった中元ギフトは、7月に入った途端に、90%前後となっている。徐々に改善してはいるが、ボーナスの状況などから、客は買い控えをしており、消費の動向が弱くなっている。
		家電量販店（店長）	お客様の様子	・企業城下町なので、近隣の大企業の賞与20%カットの影響を受け、業況は下向きである。
		一般レストラン（業務担当）	来客数の動き	・4、5月に比べ、来客数が15%減少している。
旅行代理店（経営者）		お客様の様子	・客は、ベースアップも望めず、賞与も前年より少ないと言っている。更に、税制、健康保険の問題などで、先行き不安が先にきており、旅行に行く雰囲気ではない。	
	タクシー運転手	競争相手の様子	・タクシーでは生計が成り立たず、退職する人が増加している。個人的には、その分の仕事が回ってきて、一時的に売上が増えたが、会社全体では減収となっている。	
	通信会社（経営者）	競争相手の様子	・サービスのための料金の割引により、利用料金がますます安くなってきている。	
	ゴルフ場（従業員）	お客様の様子	・夏休みの客を望んでいるが、ボーナス等の支給率低下により、思うように予約が伸びていない。	
	設計事務所（所長）	お客様の様子	・仕事の話はいくつかあるが、実現に時間がかかったり、話自体がなくなったりすることが多くなっている。	
	悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・七夕の人出は多かったが、来客数は非常に少なく、買上客は更に少ない。普段の街中は、相変わらずがらんとしている。
一般小売店〔衣料〕（経営者）		販売量の動き	・スタンプを集めて商品が交換できるサービスを実施しているが、客はスタンプをもらう最低金額しか買物をしない。来客数も減少している。	
衣料品専門店（経営者）		来客数の動き	・来客数、販売数ともに、3か月連続で2桁減となっている。売上高は、客単価の上昇により、やや持ち直している。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・6、7月と新車の登録がなされていない状態で、非常に悪い。中古車がぼつぼつ出ているくらいで、販売量が極端に落ち込んでいる。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・利用客数、来客数が極端に減少している。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・宿泊客数は、1か月平均で4、5百名減少している。市内の駅前に新ホテルがオープンする予定があり、更に稼働率が低くなる。
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・レストランのビールフェアで、1杯100円のビールを提供しても、前年の半分の売上である。
		通信会社（営業主任）	販売量の動き	・ケーブルテレビの加入件数が低迷し、横ばい状態である。この暑さで、営業マン、購買者ともに積極性がなくなっている。
企業 動向 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	窯業・土石製品製造業（経営者）	それ以外	・社屋で開講しているものづくり広場教室では、予想以上の受講者数が確保でき、順調なスタートとなっている。
		一般機械器具製造業（生産管理担当）	受注量や販売量の動き	・金額にはなかなか表れていないが、客の引き合いは確実に増加しており、やや良くなっている。
		輸送業（営業担当）	取引先の様子	・天候が良いため、お茶、スポーツ飲料を中心とした飲料水関係の配送が良好である。
	変わらない	司法書士	受注量や販売量	・受注件数等が、やや上向きの傾向にある。
		化学工業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注量が安定してきており、悪くなっていくという感じではない。
		金属製品製造業（経営者）	それ以外	・建設機械の上場工場は休業同様で、このところ下請けに倒産が出始めている。トラックや特装車両、工作機械などには、動きがほとんどない。親工場は、現行の低レベルの生産でも成り立つ事業構造作りに入っている。
		精密機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・取引先も本格的な景気の回復には至っておらず、相変わらず、安値競争が続いている。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・7月になっても、官民ともに発注がほとんど増加していない。
		金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・繁忙期を迎えた観光地では、宿泊料金の割引競争や台風等によるキャンセルで、営業状況は厳しい。一部の地域において、釣り客などが増加しているが、売店等の売上は低調である。
		新聞販売店〔広告〕（総務担当）	取引先の様子	・7月のチラシの出稿量は、10%近くのマイナスで、残りの月末4日間で取り戻すのはとても困難である。 ・市内の百貨店のお中元は、個人は前年並みで推移しているものの、企業の発注は大幅に減少し、前年同期比で20%近くのマイナスになっている。
		その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量、システム開発量の全てにおいて変わらない。
		その他サービス業〔放送〕（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・大手企業の年間契約の落ち込みが大きい。新規引き合いのスポット広告が出てきているが、価格の値引要求が多く、利益は減少傾向にある。
		やや悪くなっている	電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子
	輸送用機械器具製造業（総務担当）		受注量や販売量の動き	・受注量は、対前年比で約10%、3か月前比で5～6%の減少となっている。
	経営コンサルタント		取引先の様子	・前年並みの売上を確保するのが精一杯という取引先が多く、来年度の高校新卒者に対する求人のように、中長期の人的、物的投資への慎重姿勢は依然として強い。
	悪くなっている	電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・取引先からの発注量が、かなり減少している。
建設業（総務担当）		取引先の様子	・県内の2つのゴルフ場が民事再生法等を申請し、その他のゴルフ場でも入場者が減少していることから、設備投資はもちろん、補修工事も受注できない。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
雇用 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	人材派遣会社 (経営者)	求人数の動き	・賃金形態は変わっておらず、今後もあまり変わらない。求人数はやや増えている。
	変わらない	人材派遣会社 (経営者)	求人数の動き	・派遣依頼は徐々に回復しているが、景気を押し上げるような力強さに欠けている。今まで長期であった契約が、1～2か月の短期に変わり、業種も単純な入力作業や一般事務職はほとんどなく、国家資格取得などの条件やシステムエンジニアなどの専門職の依頼が多く、契約成立が厳しい。
		職業安定所(職 員)	求職者数の動き	・新規求職申込数が、対前年比で10か月連続増加している。最近3か月では、前年同期比で32.0%増加しており、特に45歳以上の非自発的離職者が多い。
		職業安定所(職 員)	求人数の動き	・各産業において、新規求人は引き続き減少しており、求人にもマッチした経験、技術、資格を持たない人の就職環境は厳しくなっている。
		職業安定所(職 員)	採用者数の動き	・来年3月卒対象の求人提出状況が鈍く、先行きの見通しが立たない企業が多い。一般求人では、各企業が生き残りをかけて固定費を削減しているために、比較的安定した求人数のサービス業などでも、パートやアルバイトが目立ち、製造業では業務請負業者からの求人が多い。
		職業安定所(職 員)	求人数の動き	・求人件数、求人数とも10%程度増加しているが、高卒求人が前年同期比で40%減少している。
		民間職業紹介機 関(経営者)	求人数の動き	・大手メーカーが数千名のリストラを始め、周辺地域は混乱している。正社員の採用が少ないため、派遣、請負等に流れる人々が多くなるという不安定な状況が続いている。
	やや悪く なっている	人材派遣会社 (経営者)	周辺企業の様子	・全般的に、製造業等は非常に厳しい。中小企業の雇用情勢は最悪である。
		求人情報誌製作 会社(経営者)	周辺企業の様子	・周辺企業のリストラ、会社の閉鎖、倒産などが目立つようになっている。
	学校[短期大 学](就職担 当)	雇用形態の様子	・学生の多くが望む事務職、販売職などにおいて、即戦力となる派遣社員を求めたり、人件費抑制のためにパートタイマーの割合を高めるなどの動きが顕著になってきている。	
悪く なっている	求人情報誌製作 会社(経営者)	求人数の動き	・例年、求人が増加する時期であるが、期待していたよりも大幅に少ない。特に、地域の電車の求人広告依頼が激減している。	